



消防だより

有田川町消防本部 052-59950
吉備金屋消防署 052-59950
清水消防署 025-1243

今年の出動等(累計)

火災……………12件
救急……………732件
救助……………7件
(平成25年7月31日現在)

地震対策

日本は、地震列島と呼ばれるほど地震の多い国です。また、近年、東南海・南海地震など、大規模な地震の発生が懸念されています。地震が発生したら、次のように対処しましょう。

①揺れを感じたら、丈夫な机やテーブルなどの下に身を伏せ、まず自分自身の安全を守りましょう。揺れがおさまってから、玄



関などの扉を開け、避難口を確保しましょう。慌てて外に飛び出すと、瓦や看板などの落下物だけがをす危険があります。

②地震時に火を使用している場合は、すぐに消火しましょう。ただし、揺れが大きい時は、無理に火を消そう



として、大やけどをする危険があるので、揺れがおさまってから消火するようにしましょう。出火した場合は、消火器などを使用し、火が広がる前に落ち着いて消しましょう。

③避難する時は、必ずくつ等を履いて徒歩で避難しましょう。裸足では、がれきやガラスの破片などで、



けがをする危険があります。避難の際、ガスの元栓を閉め、電気器具のプラグを抜き、ブレーカーを落とし、荷物は、非常持ち出し品などの必要最小限にとどめましょう。

④避難時、狭い路地や塀際は、「瓦が落ちてきたり、塀が倒れてくる危険があります。また、がけや川べりは、地盤がゆるんで崩れやすくなっている場合があるので、近寄らないようにしましょう。

以上のことを心がけ、地震の時は、落ち着いて適切な行動がとれるようにしましょう。

9月9日は「救急の日」

皆さんは、9月9日が何の日かご存じですか。

9(きゅう)と9(きゅう)で「きゅうきゅうの日」、すなわち「救急の日」です。

救急の日



「救急の日」は、救急業務及び救急医療に対して皆様方の理解と認識を深めていただくとともに、救急医療関係者の意識の高揚を図ることを目的に昭和57年に定められ、毎年9月9日を「救急の日」、救急の日を含む一週間(日曜日から土曜日)を「救急医療週間」と定めています。本年は9月8日(日)～9月14日(土)で、全国各地において救急に関する様々な行事が実施されます。

当消防本部においても、9月8日(日)、22日(日)に日曜救急講習会を予定しています。

突然の事故や病気などのとき、救急隊が現場に到着するまでの間に、救急現場に居合わせた人が、迅速な119番通報、適切な応急手当を速やかに実施することにより、傷病者の救命効果が一層向上します。



消防署では、心肺蘇生法を学ぶための普通救命講習会を実施しています。この講習では、心肺蘇生法の実習を基本とし、AEDの使用方法を習得することができます。講習時間は、約3時間で窒息に対する処置や止血法等も学ぶことができます。

突然の心肺停止は、身近な家庭でおこる場合が多いのです。大切な人を救えるのは、そばにいるご家族やご友人、そしてあなたです。ぜひ一度、普通救命講習会を受講してみてください。

あなたの命と財産を守るため 付いていますか? 住宅用火災警報器
「法律で全ての住宅に火災警報器の設置が義務付けられています。」

